

女性の活躍支援事業【広島県尾道市】

個別事業費	412 千円
交付金額	206 千円

地域の実情と課題

少子高齢化が加速し、生産年齢人口が減少する中、市内企業では人手不足が最大の経営課題となっており、労働力の確保は極めて重要な課題となっている。

また、「ワーク・ライフ・バランス」や「働き方改革」への関心が高まり、働き方に対する意識やニーズが多様化している。誰もが安心して働き続けられる職場環境づくりが必要不可欠である。

目的・目標

男性の家庭参画を促し、性別を問わず多様な人材が個性と能力を十分に発揮し、働き続けやすい環境づくりを推進するためセミナーを実施する。

事業目標	参加予定数	16組32人(アウトプット)
事業実績	参加者数	7組13人(目標達成度40.6%)
事業KPI目標	意識変容	70%(アウトカム) 実績92%(目標達成度131%)

事業の特徴

・子育て世代を対象

仕事と家事・育児の両立に向け、性的役割を押し付け合わず、家事・育児に対する認識を共有し、役割分担について家庭で向き合うための意識啓発を行う。また、参加しやすくするために、未就学児の託児サービスを設ける。

連携団体

事業の効果

参加者数は、申込時点では約70%に達していたところ、開催時には感染症による体調不良で欠席が相次ぎ、目標から大きく下回ったが、セミナー実施後のアンケート結果では、回答者全員から「大変満足」「満足」という結果が得られた。

また、「家に帰って今回のセミナーを活かしたい」「育休を取って妻の負担を減らしたい」などの声もあり、家事分担の必要性について理解が深まり、仕事と家事・育児の両立に向けた意識の醸成が図られた。

今後の課題

ワーク・ライフ・バランスや働き方改革への関心は浸透してきているが、人材不足を訴える市内企業も多く、誰もが働きやすい環境づくりや多様な働き方の提案を行うなど、企業を始め、ダイバーシティの観点からも働く意欲を持ったすべての方を支援する事業は継続して実施する必要がある。

